

普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略 取組状況点検シート

平成27年度の取り組み（地方創生先行型事業）

No.	事業名	担当課名
①	ふだいの産業魅力アップ事業	政策推進室
②	普代村新卒者等雇用促進奨励金事業	農林商工課
③	普代村新規漁業者支援協議会補助金	建設水産課
④	はまゆり子ども園給食費支援事業	教育委員会
⑤	学官連携で推進する「おためしU愛」ターン」支援事業	政策推進室
⑥	「青の国ふだい」ファン会員登録制度事業	政策推進室
⑦	地域資源発掘周遊観光バス運行事業	政策推進室
⑧	地域資源発掘周遊観光バス整備事業	政策推進室
⑨	宿泊施設WiFi環境構築事業	政策推進室

1. 取り組みの概要 (Plan)

先行型事業名	ふだいの産業魅力アップ事業			担当課名	政策推進室 建設水産課
基本目標	基本目標1 地域における安定した雇用を創出する				
施策	施策3 つくり育てる産業の推進				
目的	本村は、昆布をはじめとした豊富な水産資源や自然景観等の地域資源に恵まれているが、その価値や魅力を消費者に伝えきれていない。そこで、生産者・事業者・村民・漁協・商工会・支援機関が連携して加工品開発や販路開拓等の取り組みを推進し、地域資源の価値を向上させ、「青の国ふだいブランド」のブランドイメージの定着及びブランド力の向上を図ることを目的とする。				
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した加工品及びご当地グルメ開発 ・商品開発相談会の開催 ・地域資源を活用したPRイベント等の開催 ・昆布を使った簡単レシピの開発 ・昆布を使った料理教室の開催 				
事業費(円)	平成27年度 予算額	3,423,000	平成27年度 決算額	3,421,250	
KPI (重要業績評価指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・商品化数(件) ・新規取引件数(件) 		H26現状値	H27目標値	H27実績値
			—	3	3
			—	5	5

2. 取り組みの状況 (Do)

事業の実施状況	本村の地域資源の魅力を消費者に伝えるため、「青の国ふだい」ブランド構築に向けた商品開発先進地視察や食の交流会、商品開発相談会、普代フェア、普代グルメ試食会、特産品PRコンテンツの作成等、公民連携による取り組みを推進し、ブランドのイメージ定着を図った。				
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予算額	平成27年度 決算額	
	商品開発先進地視察	特産品の昆布を活用した商品開発のため、昆布消費量日本一の富山と静岡おでんの加工現場など、先進地を視察(7/13~7/15)した。参加者：普代村昆布大使、漁協職員、村職員	3,423,000	3,421,250	
	商品開発相談会	本村の海産物を活用した加工品の開発と改良に取り組む事業者に対し、専門的な知見を有するアドバイザーが助言等を行い、新たな商品化とフォローアップを行った。相談会開催：全6回、延べ7社			
	新商品発表・試食会の開催	ふだいまると元気市冬の市(1/17)イベント会場内において、普代村昆布大使監修の「ふだいおでん」の発表と、「普代フェアメニュー」の試食販売を行った。			
	普代フェア	第7回目となる普代フェア(11/6~11/22)では、盛岡市内の飲食店17店舗、産直施設5店舗及び東京都内の飲食店1店舗といわて銀河プラザで、本村の特産品販売・魅力情報発信を行った。			
特産品PRコンテンツ作成	本村の特産品の魅力を最大化するためのコンテンツとして、すき昆布のレシピや昆布商品ポスターを作成した。特産品PRコンテンツ：すき昆布レシピ5,000部、のぼり20枚、ポスター100枚				

3. 取り組みの検証／内部評価 (Check1)

<p>KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析</p>	<p>商品開発に係る助成事業の活用や新商品等の販売戦略、既存商品の改良など、商品開発相談会に対する事業者ニーズは高い状況となっている。27年度には、6回の相談会が行われ、延べ7社が参加し、2社3件の商品化につながっている。また、普代フェアの開催により、盛岡市内の飲食店や産直施設などへの販路も広がり、新規取り扱いも目標の5件を達成している。</p>		
<p>取り組みの課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存商品のフォローアップの強化 ・ 普代フェアで提供されているメニューの通年商品化 ・ ふだいおでんの地域内メニュー化及び販売戦略 		
<p>内部評価結果</p>	<input type="checkbox"/> 現状維持(計画通り)	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
<p>今後の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに開発された商品の販売状況を追跡調査し、販売拡大に向けた商品の改良や販路の開拓など、フォローアップの強化が必要である。 ・ 普代フェアで提供されているメニューや特産品の昆布を活用した新たな商品「こんぶおでん」が地域内のメニュー（商品）として提供できるような取り組みが必要である。 		

4. 取り組みの検証／外部評価 (Check2)

<p>KPIに対する事業の効果</p>	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とはいえない
<p>内部評価に対する評価</p>	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない →
<p>外部委員会(推進会議)からの意見</p>		

5. 取り組みの改善 (Action)

<p>外部委員会(推進会議)からの意見を踏まえた取り組み</p>	
----------------------------------	--

1. 取り組みの概要 (Plan)

先行型事業名	普代村新卒者等雇用促進奨励金事業			担当課名	農林商工課
基本目標	基本目標1 地域における安定した雇用を創出する				
施策	施策4 労働人口の確保				
目的	新卒者及びUターン、J・Iターン者の雇用拡大と地元への定着を図ることを目的として、新卒者及びUターン、J・Iターン者を常用雇用者として雇用した事業主に対し、年間60万円（最長3年間）を限度に奨励金を交付する。				
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主に対する奨励金 ※補助の内容 村内に住所を有する新卒者（卒業から1年を経過しない者）及びU・I・Jターン者（30歳以下の者）を常用雇用者として雇用した村内事業主に対し、雇用者1人につき月額50,000円の奨励金を最大36月分交付する。				
事業費(円)	平成27年度 予 算 額	1,500,000	平成27年度 決 算 額	1,500,000	
KPI (重要業績評価指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用者数(人) ・U I J ターン者雇用人数(人) 	H26現状値	H27目標値	H27実績値	
		—	2	3	
		—	1	0	

2. 取り組みの状況 (Do)

事業の実施状況	普代村漁協及び普代福祉会に雇用となった新卒者等3名分の奨励金を各事業所に対し支給した。			
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予 算 額	平成27年度 決 算 額
	雇用促進奨励金の支給	<ul style="list-style-type: none"> ・普代村漁業協同組合 1名分600,000円(12月×1名) ・普代福祉会 2名分900,000円(12月×1名、6月×1名) 	1,500,000	1,500,000

3. 取り組みの検証／内部評価 (Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	制度活用の事業者ニーズもあり、目標値の2名を上回る実績となった。継続的な実施により若者の地元企業等への定着と地域経済の安定化が期待できる。		
取り組みの課題	・制度活用の促進（村内企業等へ周知）		
内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画通り)	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	・村のホームページやチラシ、企業訪問等を行い、制度活用を進める。		

4. 取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とはいえない
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない →
外部委員会(推進会議)からの意見		

5. 取り組みの改善 (Action)

外部委員会(推進会議)からの意見を踏まえた取り組み	
---------------------------	--

1. 取り組みの概要 (Plan)

先行型事業名	普代村新規漁業者支援協議会補助金		担当課名	建設水産課	
基本目標	基本目標1 地域における安定した雇用を創出する				
施策	施策4 労働人口の確保				
目的	本村の主産業である漁業は、後継者不足や高齢化の影響により漁業者は減少傾向にある。そこで、新規漁業者支援協議会を設立し、新規漁業者の確保・支援策を検討するとともに、国、県で開催するマッチングフェア等への積極的な参加により新規漁業者の確保を目指す。				
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催 ・マッチングフェア等への参加 				
事業費(円)	平成27年度 予 算 額	100,000	平成27年度 決 算 額	100,000	
KPI (重要業績評価指標)	・新規漁業者相談件数(人)	H26現状値		H27目標値	H27実績値
		—		5	3

2. 取り組みの状況 (Do)

事業の実施状況	平成28年3月28日(月)に普代村漁業就業者育成協議会を設立。協議会では次年度以降、新規漁業者支援制度の創設と仙台・東京などで開催される漁業就業者フェアに参加する活動計画としている。				
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予 算 額	平成27年度 決 算 額	
	協議会補助金	27年度は組織組成と次年度以降の漁業就業者支援の制度の設計を行った。協議会会員：県水産部、村漁協、村	100,000	100,000	

3. 取り組みの検証／内部評価 (Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	組織の立ち上げにより今後の新規漁業者確保に資する支援制度の構築が期待され、後継者・担い手対策とU I J ターン者等の雇用の確保、地場産業の活性化を目指す。		
取り組みの課題	・ 制度活用の促進		
内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画通り)	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	・ 村のホームページやチラシ、漁業就業者フェア等において、制度活用を進める。 【参考：漁業就業者育成補助金※H28～】 ①漁家子弟 初年次50,000円/月額、2年次30,000円/月額、3年次無し ②新規 初年次100,000円/月額、2年次70,000円/月額、3年次50,000円/月額		

4. 取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とはいえない
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない →
外部委員会(推進会議)からの意見		

5. 取り組みの改善 (Action)

外部委員会(推進会議)からの意見を踏まえた取り組み	
---------------------------	--

1. 取り組みの概要 (Plan)

先行型事業名	はまゆり子ども園給食費支援事業		担当課名	教育委員会
基本目標	基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
施策	施策4 子どもの夢・希望と新たな生活環境の創造			
目的	本村では、幼小中一貫教育を推進する中、保育料の無料化、高校生以下医療費の無料化など子育て世代の支援を強化しており、さらなる、子育て世代への経済的安定に資するため、「はまゆり子ども園」における利用者の給食費負担額を地域商品券で対象者へ還元し、持続的に安心して子育てが可能な環境づくりによる出生数の増加を目指す。併せ、地域内消費による地域経済循環の促進も図る。			
概要	・商品券による支援費 4,000円×6カ月×2回 ※支援内容 はまゆりこども園に入園している園児の毎月支払われる給食費実費分に対し、半年毎に地域商品券で還元・交付する。4月～9月実費分を9月に、10月～3月実費分を3月に地域商品券交付。			
事業費(円)	平成27年度 予 算 額	3,218,000	平成27年度 決 算 額	3,188,000
KPI (重要業績評価指標)	・子育て世帯転入数(世帯)	H26現状値	H27目標値	H27実績値
		—	1	1

2. 取り組みの状況 (Do)

事業の実施状況	子育て世帯の経済的負担軽減を図り、新たな生活環境の創造と地域経済の好循環に向け、はまゆり子ども園園児給食費負担相当額を地域商品券により支援した。2020年までの数値目標は、出生数・転入者数を併せて10%増加を目指す。			
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予 算 額	平成27年度 決 算 額
	給食費支援事業 (地域商品券交付)	上半期(4～9月)延べ416人、下半期(10～3月)延べ448人に交付	3,218,000	3,188,000

3. 取り組みの検証／内部評価 (Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	新たな子育て世代への経済的安定に資する取り組みが構築され、本事業と産業・雇用を一体的に推進することが必要である。		
取り組みの課題	・ U I J ターン希望者等への周知		
内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画通り)	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	新たな子育て世代への経済的安定に資する取り組みが構築され、本事業と産業・雇用を一体的に推進することが必要である。		

4. 取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とはいえない
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない →
外部委員会(推進会議)からの意見		

5. 取り組みの改善 (Action)

外部委員会(推進会議)からの意見を踏まえた取り組み	
---------------------------	--

1. 取り組みの概要 (Plan)

先行型事業名	学官連携で推進する「おためしU愛」ターン」支援事業		担当課名	政策推進室	
基本目標	基本目標4 地域への新しい人の流れをつくる				
施策	施策2 移住定住者の多様なニーズへの対応				
目的	次年度より見込まれる学官連携（大阪府大手門学院大学予定）を推進する中で、都市部の学生等の考え方を活用した、交流人口拡大施策、移住者の受入体制構築に向けた基盤整備と機会創出を図る取り組みのモデル検証事業を実施する。				
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府現地訪問及び先進地視察旅費 ・機会創出事業印刷製本費 ・おためし移住受入費用及びコーディネーター謝金 ・おためし移住者交通費助成費 ・既存施設（移住者ショートステイ型）改修工事費等 				
事業費(円)	平成27年度 予 算 額	10,521,000	平成27年度 決 算 額	10,455,478	
KPI (重要業績評価指標)	・おためし移住体験者数		H26現状値	H27目標値	H27実績値
			—	10	27

2. 取り組みの状況 (Do)

事業の実施状況	平成27年4月に学官連携協定を締結した追手門学院大学の学生等と今後の普代村の移住・定住施策を構築するための検証事業及び移住・定住施設の基盤整備を実施した。			
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予 算 額	平成27年度 決 算 額
	追手門学院大学交流事業	大学との連携協定締結式、大学との連携事業検討会議、東京U・Iターンフェア参加、追手門学院大学生2名受入、追手門学院学園際（将軍山祭）参加、他市町村先進地視察研修、報告会開催	4,872,000	4,807,078
	おためし移住・定住受入事業	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野大学生2名受入 ・村観光振興に向けた意見交換会専門家招へい ・コンビニ誘致住民説明会専門家招へい ・普代村交流ものがたりツアー造成 		
	普代村自然体験学習施設改修事業	A=193.32㎡ ユニットバス、トイレ、簡易キッチン、フロア内装等改修 <ul style="list-style-type: none"> ・設計監理業務委託料 264,600円 ・施設改修工事費 5,383,800円 	5,649,000	5,648,400

3. 取り組みの検証／内部評価 (Check1)

<p>KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析</p>	<p>移住希望者のための必要なハード面の施設整備が完了され、伝統文化（鵜鳥神楽）と生業（漁業体験）をセットとしたツアー造成によりKPIの達成に至っている。個人・団体を問わず対応できる細やかなソフト面の強化が必要である。</p>		
<p>取り組みの課題</p>	<p>・おためし移住体験のための交流体験メニュー（生業の体験機会）及びプロモーション体制の構築</p>		
<p>内部評価結果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画通り)</p>	<p><input type="checkbox"/> 要改善</p>	<p><input type="checkbox"/> 抜本的な見直し</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>ソフト面を強化した、普段の暮らしを生かした単一的ではなく継続可能な受入体験メニューを一つずつ構築していく必要がある。</p>		

4. 取り組みの検証／外部評価 (Check2)

<p>KPIに対する事業の効果</p>	<p><input type="checkbox"/> 有効であった</p>	<p><input type="checkbox"/> 有効とはいえない</p>
<p>内部評価に対する評価</p>	<p><input type="checkbox"/> 適当である</p>	<p><input type="checkbox"/> 適当ではない →</p>
<p>外部委員会(推進会議)からの意見</p>		

5. 取り組みの改善 (Action)

<p>外部委員会(推進会議)からの意見を踏まえた取り組み</p>	
----------------------------------	--

1. 取り組みの概要 (Plan)

先行型事業名	「青の国ふだい」ファン会員登録制度事業		担当課名	政策推進室	
基本目標	基本目標4 地域への新しい人の流れをつくる				
施策	施策3 輝く地域資源の創造				
目的	優れた産業資源、観光資源、伝統文化を活かし続けるため、今後予定する首都圏等対象ツアー造成事業に結び付ける手法の一つとして「普代村を応援したい方」を集客・登録し、日常的な村の魅力を定期的に配信し持続的な人の流れのネットワーク構築に向け実施する。				
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事務補助賃金 ・登録者向特産品購入費 ・会員パスポート制作費 ・ファンクラブ通信印刷費 ・ファンクラブ通信郵送費 				
事業費(円)	平成27年度 予 算 額	2,258,000	平成27年度 決 算 額	1,971,865	
KPI (重要業績評価指標)	・会員登録者数	H26現状値		H27目標値	H27実績値
		—		100	38

2. 取り組みの状況 (Do)

事業の実施状況	普代村を応援したい方を集客・登録し、日常的な村の魅力を定期的に配信し持続的な人の流れのネットワーク構築に向け実施した。				
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予 算 額	平成27年度 決 算 額	
	ファン会員登録制度事業	専門事務補助員雇用、ファン会員集客・登録、特産品の選定・発送、会員パスポート制作・発送、ファンクラブ通信発行・発送	2,258,000	1,971,865	

3. 取り組みの検証／内部評価 (Check1)

<p>KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析</p>	<p>プロモーションの手法及び周知方法の模索に時間を要し、KPIの達成には至っていない。村民だれもが勧誘可能な体制構築を図る手段と周知機会創出の構築が必要である。</p>		
<p>取り組みの課題</p>	<p>・行政だけでなく、村民だれもが率先して会員勧誘できる村民への周知徹底</p>		
<p>内部評価結果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画通り)</p>	<p><input type="checkbox"/> 要改善</p>	<p><input type="checkbox"/> 抜本的な見直し</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>継続して実施していくことで会員数の増加は見込めることが予想されることから、村民一人一人がファン会員を募っていける仕組みの構築に取り組む必要がある。</p>		

4. 取り組みの検証／外部評価 (Check2)

<p>KPIに対する事業の効果</p>	<p><input type="checkbox"/> 有効であった</p>	<p><input type="checkbox"/> 有効とはいえない</p>
<p>内部評価に対する評価</p>	<p><input type="checkbox"/> 適当である</p>	<p><input type="checkbox"/> 適当ではない →</p>
<p>外部委員会(推進会議)からの意見</p>		

5. 取り組みの改善 (Action)

<p>外部委員会(推進会議)からの意見を踏まえた取り組み</p>	
----------------------------------	--

1. 取り組みの概要 (Plan)

先行型事業名	地域資源発掘周遊観光バス運行事業			担当課名	政策推進室
基本目標	基本目標4 地域への新しい人の流れをつくる				
施策	施策3 輝く地域資源の創造				
目的	観光資源においては「三陸ジオパーク」、「みちのく潮風トレイル」、「あまちゃんの口ケ地ともなった三陸鉄道堀内駅」など、また、伝統芸能では国の重要無形民俗文化財に指定される「鶴鳥神楽」など地域資源に優れている。こうした強みを活かし、滞在型観光と広域連携観光に結び付けるため、一方で遅れている資源のブラッシュアップやその魅力の発信のため村内周遊バス路線を新たに造成・運行を実施する。				
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・周遊観光バス運行（運行業務委託料、燃料費）782千円 ・周遊観光バス停留所整備1,182千円 				
事業費(円)	平成27年度 予算額	1,970,000	平成27年度 決算額	1,963,336	
KPI (重要業績評価指標)	・観光客バス利用者数	H26現状値		H27目標値	H27実績値
		—		1,020	266

2. 取り組みの状況 (Do)

事業の実施状況	地域資源発掘周遊観光バス運行事業においては、観光シーズン（5月～10月）の日曜、祝日に観光客向けの周遊観光バスを運行し、また、地域資源発掘周遊観光バス停留所等整備事業においては、各バス停留所毎に周遊観光ポイントを周知できる停留所標識のリメイクを実施した。				
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予算額	平成27年度 決算額	
	地域資源発掘周遊 観光バス運行事業	観光シーズン（5月～10月）の日曜、祝日の全34日間の試験運行（黒崎方面4往復、堀内・鳥茂渡方面4往復）を実施した。	1,970,000	781,341	
	地域資源発掘周遊 観光バス停留所等 整備事業	地域資源発掘周遊観光ポイント整備として、バス停標識改修（24箇所）、黒崎展望断掲示板改修、黒崎展望台詩碑説明板設置、堀内駅ベンチ設置を実施した。		1,181,995	

3. 取り組みの検証／内部評価 (Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	試験運行として実施したが、KPIの達成には至っていない。利用者ニーズに合わせた運行方法の検討が必要である。		
取り組みの課題	・利用者ニーズの把握		
内部評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持(計画通り)	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	より細やかな利用者ニーズを把握し、利用者の輸送のみならず利用促進にもつながる特色ある運行方法を検証・構築する必要がある。		

4. 取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とはいえない
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない →
外部委員会(推進会議)からの意見		

5. 取り組みの改善 (Action)

外部委員会(推進会議)からの意見を踏まえた取り組み	
---------------------------	--

1. 取り組みの概要 (Plan)

先行型事業名	地域資源発掘周遊観光バス整備事業		担当課名	政策推進室
基本目標	基本目標4 地域への新しい人の流れをつくる			
施策	施策3 輝く地域資源の創造			
目的	次年度の観光シーズンの運行に向けた、周遊観光専用車両の確保が急務となっており、実証運行で把握できた利用者ニーズに対応すべき、さらなる観光資源のブラッシュアップを図るとともに、車両のラッピング及び車内でも村の魅力を配信、体感できるシステムを搭載した周遊観光バス1台を新たに整備する。			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・バス購入 ・バス関連整備 			
事業費(円)	平成27年度 予算額	4,945,000	平成27年度 決算額	4,942,656
KPI (重要業績評価指標)	・観光客入込客数	H26現状値	H27目標値	H27実績値
		—	63,294	65,801

2. 取り組みの状況 (Do)

事業の実施状況	平成27年5月から10月に実施した地域資源周遊観光バス運行実証事業を踏まえ、次年度の観光シーズンの土曜、日曜、祝日の観光客向けの周遊観光バスの運行に向け、新たに魅力ある車両整備を実施した。			
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予算額	平成27年度 決算額
	バス車両購入	・トヨタハイエースコミュニティGL (4WD) 14人乗 × 1台	3,245,000	3,242,736
	バス関連整備	<ul style="list-style-type: none"> ・バスラッピング及び車載映像機材取付 ・バス停標識改修 13箇所 ・他言語化看板整備 2箇所 	1,700,000	1,699,920

3. 取り組みの検証／内部評価 (Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	次年度に向けた整備として実施された事業ではあるが、既存のバス停の改修や多言語化看板の整備により目標の観光客入込客数は目標値63,294人を上回る65,801人となっている。		
取り組みの課題	・増加傾向にある観光客の更なる誘客及び利便性の向上。		
内部評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持(計画通り)	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	観光客向けのバス整備が完了したことから、観光客のニーズを把握し、より利便性の高まる運行形態を構築する必要がある。		

4. 取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とはいえない
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない →
外部委員会(推進会議)からの意見		

5. 取り組みの改善 (Action)

外部委員会(推進会議)からの意見を踏まえた取り組み	⑧
---------------------------	---

1. 取り組みの概要 (Plan)

先行型事業名	宿泊施設WiFi環境構築事業			担当課名	政策推進室
基本目標	基本目標4 地域への新しい人の流れをつくる				
施策	施策4 誘客拡大に向けた観光力強化				
目的	現代の観光客ニーズに適切に対応し、新たな人の流れを創出し続けるため、現在、村が保有する地域情報通信基盤（無線アクセスシステム）を活用し、村直営の宿泊施設「国民宿舍くろさき荘」の利用者や宿泊客が利用可能なWiFi環境の整備を実施する。				
概要	国民宿舍くろさき荘へのWiFi認証システム設定構築業務				
事業費(円)	平成27年度 予算額	4,882,000	平成27年度 決算額	4,881,600	
KPI (重要業績評価指標)	・ 宿泊者数（国民宿舍くろさき荘）	H26現状値		H27目標値	H27実績値
		—		11,762	8,822

2. 取り組みの状況 (Do)

事業の実施状況	現代の観光客ニーズに適切に対応し、新たな人の流れを創出し続けるため、現在、村が保有する地域情報通信基盤（無線アクセスシステム）を活用し、村直営の宿泊施設「国民宿舍くろさき荘」の利用者や宿泊客が利用可能なWiFi環境の整備を実施した。				
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予算額	平成27年度 決算額	
	WiFi環境構築業務	国民宿舍くろさき荘へのWiFi環境を構築（認証システム、無線コントローラー、無線アクセスポイント9箇所を整備）	4,882,000	4,881,600	

3. 取り組みの検証／内部評価 (Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	年度末での事業完了（運用）となったことから、宿泊者数11,762人の目標達成には至っていない。インバウンド観光も視野に入れ整備を行っていることから、新たな誘客促進に向けた営業活動の展開を目指す。		
取り組みの課題	・観光客ニーズの把握とターゲットを絞った整備方針及び営業活動の展開。		
内部評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持(計画通り)	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	観光客ニーズを把握し、村としての観光ビジョンを明確化し中長期の戦略に基づいた運営を展開する必要がある。		

4. 取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とはいえない
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない →
外部委員会(推進会議)からの意見		

5. 取り組みの改善 (Action)

外部委員会(推進会議)からの意見を踏まえた取り組み	⑧
---------------------------	---